４年生のみなさんへ　　伊勢原市立子ども科学館

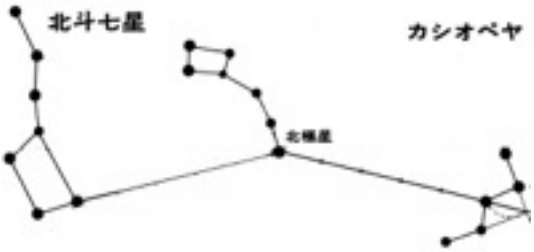
クルリンと　ほしぞらさんぽ　　10月号

これからがほしぞらさんぽの季節

気候変動のためか夏は山の方の天気が良くなくてほしぞらさんぽがやりにくくなっているように感じます。でも９月には何日かほしぞらさんぽができましたね。日暮れが早くなって、ほしぞらさんぽの季節になりました。

北斗七星は見つかりましたか

ほしぞらさんぽに出たら最初にすること、それは北の方角を確認することですね。あなたは方位磁石で調べますか。それとも北極星を見つけて北



を見つけますか。どちらがかっこういいでしょうね？

10月ですと、北斗七星はもう北西の山にかくれていますから、北極星を探すにはカシオペヤ座を使いますよ。

土星・木星と秋の星座

空を見上げて最初に気がつくのはとびぬけて明るい二つの星でしょうね。これは地球と同じ太陽系の惑星である土星と木星が見えているのです。

先に目に入るのは土星でしょうね。南の空に明るく輝いています。今年の空で土星がいるあたりは秋の星座のみずがめ座なのですが、この星座は明るい星が少ない上に星座が大きいので、星座として見つけるのは難しいと思います。逆に土星を見つけて「あの辺がみずがめ座なんだな」と見当をつけるといいでしょう。

もう一つの惑星・木星も東の中空に輝いています。木星は、これも秋の星座の一つのおひつじ座のそばにいますので、木星を目当てにおひつじ座を探せるかもしれませんよ。

あ、そうだ、土星も木星も星座早見盤にはありませんよ。どうしてだったか覚えていますか？

秋の星座で見つけやすいのはペガスス座の四辺形でしたね。ほぼ天頂近くに上っていますので、この大きな四辺形は逆に見つけにくいかもしれません。

ペガススの四辺形を見つけ、下の図を参考にして、東の空に見えているアンドロメダ座を見つけましょう。ギリシャ神話に出てくるアンドロメダ姫です。北極星を探すときに使うカシオペヤ座はこのお姫様のお母さんで、ケフェウス王のお妃です。次ページの星図で名前を探してみましょう。

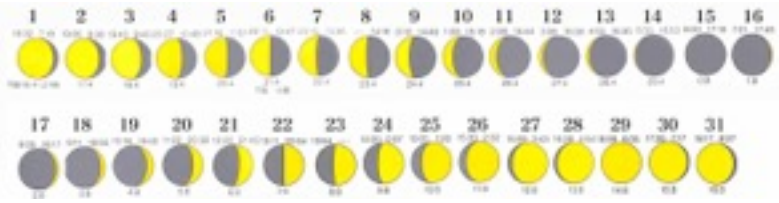
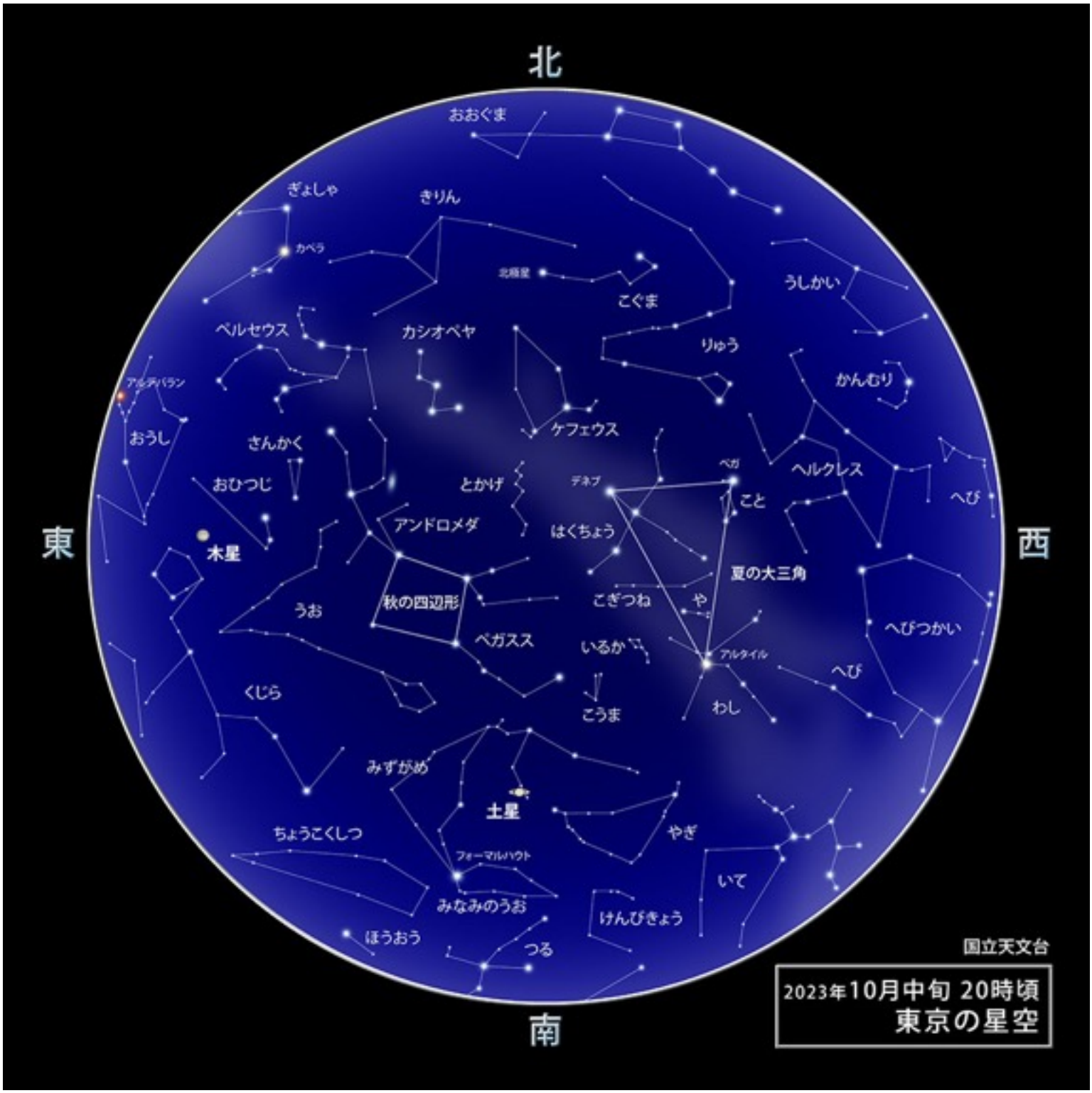
アンドロメダ座には双眼鏡で見える大きな銀河があって、アンドロメダ銀河とかM31銀河とか呼ばれています。広大な宇宙に無数にある銀河の中でも地球からおよそ250万光年と、特別近くにあるので、暗い空でなら肉眼でも見える銀河です。伊勢原の明るい空でも双眼鏡があれば見つけられると思いますので、左の星図と見比べて探してみましょう。日本の空で双眼鏡で見え

中央がアンドロメダ銀河M31、右はじがM33、左下は二重星団

る銀河は他にはないので、この冬の間に何度も挑戦して見つけられるようになりましょう。アンドロメダ座の足元にある小さな星座さんかく座は見つけやすいので探しましょう。

オリオン座流星群　10/21

10月21日の夜半から明け方にかけて、オリオン座流星群が見られると予報されています。この流星群には特別に明るい流星がなくて、その上流星の数もさほど多いとは言えないようですが、秋の代表的な流星群の一つですので、お天気が良かったら見上げてみましょう。この流星群の元になる宇宙空間のチリは、あの有名なハレー彗星がまき散らしていったチリです。

10月の月の様子

10月は下の図のように月が満ち欠けします。月を見るのにいいのはいつからいつまで？　ほしぞらさんぽはいつからいつまで？